

高等学校 令和8年度

教科 国語 科目 国語表現

対象学年組： 第4 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： 発行者 東京書籍

教科書記号・番号 国表702

教科書名 _____

教科 「国語」 の目標

【知識及び技能】	社会生活に必要な国語の知識を身に着け、適切に使用できる技能を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	社会生活を行う上で必要な伝え合う力、深く考える力、効果的に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉の持つ力を認識し、国語と我が国の言語文化を大切にし、言語感覚を磨き、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。

科目 「国語表現」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本語の文章表現及び会話表現の知識と技能を身に着ける。	的確に判断し、思考を表現する力を養う。	言葉を大切にし、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 6話し合う力をつけよう 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な表現方法 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか、様々な表現が理解できたか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に应答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1
	C 単元 7情報活用能力を身につけよう 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 情報活用能力 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか 情報活用能力が身に着いたか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に应答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15

D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
定期考査				○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配当数
2 学期	E 単元 8 説得力のある提案をしよう 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な表現方法 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか 効果的な表現方法が出来たか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に应答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	F 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1
	G 単元 9 表現を楽しもう 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な表現方法 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか 効果的な表現方法が出来たか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に应答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	H 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
定期考査				○	○		1	
3 学期	単元 心をつかむ表現 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な表現方法 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか 効果的な表現方法が出来たか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に应答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	10
	J 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	K 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査					○	○	1

高等学校 令和8年度

教科 数学 科目 数学A

対象学年組： 第4 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 畠山 仁男

使用教科書： 発行者 第一

教科書記号・番号 数A718・719

教科書名 新編数学A・新編数学Aサポートブック

教科 「数学」 の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 「数学A」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	3章 図形の性質 1節 三角形の性質 【知識及び技能】 三角形の基本的な性質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明すること。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の基本的な性質について理解を深め、三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明すること。	・指導事項 対頂角・同位角・錯角 三角形の比 ・教材 教科書、サポートブック 等 ・一人1台端末・算盤の活用 等	【知識・技能】 ・平行線と線分の比を、図形の計量に利用することができる。 ・線分の内分、外分について理解している。 ・三角形の内角や外角の二等分線の性質を、図形の計量に利用することができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の内角や外角の二等分線の性質を導く過程について、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角形の内角や外角の二等分線の性質に関心をもち、調べてみようとする。	○	○	○	11
	定期考査（第1学期中間考査）			○	○		1
	3章 図形の性質 1節 三角形の性質 【知識及び技能】 三角形の基本的な性質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明すること。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の基本的な性質について理解を深め、三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明すること。	・指導事項 三角形の外心・内心・重心 ・教材 教科書、サポートブック 等 ・一人1台端末・算盤の活用 等	【知識・技能】 ・三角形の外心について理解し、図形の計量に利用することができる。 ・三角形の内心について理解し、図形の計量に利用することができる。 ・三角形の重心について理解し、図形の計量に利用することができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の3辺の垂直二等分線が1点で交わる理由について、説明することができる。 ・三角形の3つの内角の二等分線が1点で交わる理由について、説明することができる。 ・三角形の3本の中線が1点で交わることや、その交点が各中線を2：1に内分する理由について、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角形の外心、内心、重心に関心をもち、調べてみようとする。	○	○	○	15
	定期考査（第1学期期末考査）			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	<p>3章 図形の性質 2節 円の性質</p> <p>【知識及び技能】 円の基本的な性質について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 円の基本的な性質について理解を深め、円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明すること。</p>	<p>・指導事項 円周角の定理 円に内接する四角形 円と接線、円の接線と弦の作る角 方べきの定理</p> <p>・教材 教科書、サポートブック 等 一人1 台端末・算盤の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・円周角の定理や円に内接する四角形の性質を、図形の計量に利用することができる。 ・円の接線の長さについて理解し、その性質を図形の計量に利用することができる。 ・円の接線と弦の作る角の性質を、図形の計量に利用することができる。 ・方べきの定理を、図形の計量に利用することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・円周角の定理の逆や四角形が円に内接する条件から、四角形が円に内接するかを判断することができる。 ・円外の点から円に引いた2本の接線の長さが等しい理由について、説明することができる。 ・円の接線と弦の作る角が円周角に等しい理由について、説明することができる。 ・方べきの定理を導く過程を、考察したり説明したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・円周角の定理とその逆について関心をもち、調べてみようとする。 ・円に内接する四角形に関心をもち、調べてみようとする。 ・円の接線の長さや、円の接線と弦の作る角について関心をもち、調べてみようとする。 ・方べきの定理について関心をもち、調べてみようとする。</p>	○	○	○	10
	定期考査（第2学期中間考査）			○	○		1
	<p>3章 図形の性質 2節 円の性質</p> <p>【知識及び技能】 円の基本的な性質について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 円の基本的な性質について理解を深め、円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明すること。</p>	<p>・指導事項 2つの円</p> <p>・教材 教科書、サポートブック 等 一人1 台端末・算盤の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・2つの円の位置関係が、それぞれの円の半径、および中心間の距離によって決まることを理解している。 ・共通接線の長さを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・2つの円の位置関係を、それぞれの円の半径や中心間の距離から判定することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・2つの円の位置関係や、共通接線について関心をもち、調べてみようとする。</p>	○	○	○	7
	<p>3章 図形の性質 3節 空間図形</p> <p>【知識及び技能】 空間における直線や平面の位置関係について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 空間における直線や平面のなす角について理解を深めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 空間における直線や平面の位置関係、およびそれらのなす角について理解を深めること。</p>	<p>・指導事項 空間における直線・平面の位置関係</p> <p>・教材 教科書、サポートブック 等 一人1 台端末・算盤の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・空間における2直線、直線と平面、2平面の位置関係について理解している。 ・空間における2直線のなす角を求めることができる。 ・空間における2平面のなす角を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ねじれの位置にある2直線のなす角を求める際に、一方の直線を移動するなどの適切な操作を施して考えることができる。 ・直線と平面の垂直を、適当な図形に着目して証明することができる。 ・空間における2平面のなす角を求める際に、交線に垂線を引くなどの適切な操作を施して考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・空間における2直線の位置関係、2直線のなす角などに関心をもち、調べてみようとする。 ・空間における直線と平面の位置関係、直線と平面の垂直条件などに関心をもち、調べてみようとする。 ・空間における2平面の位置関係、2平面のなす角などに関心をもち、調べてみようとする。</p>	○	○	○	7
定期考査（第2学期期末考査）				○	○		1

3 学 期	<p>4章 数学と人間の活動</p> <p>1節 数学と人間の活動</p> <p>【知識及び技能】 倍数の性質や整数の除法の性質を理解し、それらに基づいて整数に関連した事象を論理的に考察し表現すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて最大公約数を求めたり、2元1次不定方程式の解を求めたりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 記数法の仕組みを理解し、整数の性質を事象の考察に活用すること。相似な図形の性質や図形の移動などを、測量の場面で活用すること。</p>	<p>・指導事項 約数・倍数 余りによる自然数の分類 ユークリッドの互除法 2進法</p> <p>・教材 教科書、サポートブック 等 一人1台端末・算盤の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・倍数の性質や判定法について理解し、それに基づいて2, 3, 4, 5, 9の倍数を判定することができる。 ・割り算の余りによって整数を分類できることについて、理解している。 ・ユークリッドの互除法を利用して、最大公約数を求めることができる。 ・2進数を10進数になおしたり、10進数を2進数になおしたりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・倍数の判定法を、倍数の性質に基づいて説明することができる。 ・整数の性質の証明などにおいて余りによる分類を利用する際に、割る数を適切に選ぶことができる。 ・ユークリッドの互除法によって最大公約数が求められる仕組みを、考察することができる。 ・2進法の仕組みについて考察したり説明したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・倍数の性質に関心をもち、調べてみようとする。 ・倍数の判定法に関心をもち、調べてみようとする。 ・整数を割り算の余りによって分類することについて関心をもち、調べてみようとする。 ・ユークリッドの互除法に関心をもち、調べてみようとする。 ・2進法の仕組みについて関心をもち、調べてみようとする。</p>	○	○	○	15	
	定期考査（学年末考査）			○	○		1	
備考	脳(前頭前野)の働きを活性化させるためのウォーキングアップメソッドとして、毎回初歩的そろばん操作を実践し、やる気・元気・根気の醸成に取り組みま						合計	70

高等学校 令和8年度

教科 理科 科目 物理基礎

対象学年組： 第4 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 今武 顕

使用教科書： 発行者 第一学習社

教科書記号・番号 183

教科書名 改訂 新編物理基礎

教科 「理科」 の目標

【知識及び技能】	物理学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、現象を数式化したり、また科学的に表現、処理する方法を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】	物理学の知識を活用して現象を科学的に考察する力、現象の本質や他の現象との関係を認識し、統合的、発展的に考察する力、科学的に図、数式などを利用して表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	物理学の本質を認識し積極的に科学を活用しようとする態度、またそれに粘り強くとりくみその事実在即して日常生活に対処して、問題解決の能力、また自分自身を評価改善するという積極性についても養うようにする。

科目 「物理基礎」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
力学、熱及び電気、波などについての基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解するとともに、現象を数式化したり、物理学の法則に即し解釈し、物理的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	物理現象を多角的にみたり目的に応じた適切な表現に変形したりする力、図式の有り様着目し、図式の本質や量について論理的に考察する力、データの散らばりや、変数間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決	自然科学を学習する利点を認識し科学を活用しようとする態度、粘り強く考え科学的推論する能力、それに基づいて科学的事実を判断する態度、問題解決の過程において考察を深めたり、評価・改善する能力や創造性を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1章 物体の運動 1節 運動の表し方 1 速さとその表し方 2 等速直線運動 3 速さと速度 4 速度の合成	・直線運動における位置、変位、速さ、速度などの量を理解する。 ・またそれらの数式による表し方、図的な表し方について認識する。 ・「速度」が速さと方向2つの量をもつ物理量なのを認識する。 ・速度の合成を行えるようにする。	【知識・技能】 相対速度をもとめることができる。 【思考・判断・表現】 速度を具体的数値を使用して数式から求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活に即し時速、分速、秒速などの量を求められるようにする。	○	○	○	
1章 物体の運動 5 加速度 6 等加速直線運動 7 自由落下運動	・等加速度運動とはどのような運動なのかを理解する。 ・等加速度運動における、時間と変位、時間と速度の関係を理解する。 ・自由落下運動における時間と変位、時間と速度の関係式を理解する。	【知識・技能】 自由落下運動などの物体の運動を等加速運動の式を用い、速度、変位などの値をお求められるようにする。 【思考・判断・表現】 変位や速度、加速度などの基本的物理量を現象を理解し、それらの量を数式により求められるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験などを見て等加速運動はどのようなものか認識する。	○	○	○	
定期考査			○	○	○	
1 学期 2節 ニュートンの運動の法則 1 慣性の法則 2 力の分解と合成 3 力と加速度の関係式 4 力のつり合い	・等速直線運動する物体に力が加わらなかった場合、また力が加わった場合どうなるかを認識する。 ・力とは何かを理解する。 ・重さと質量の違いを理解する。 ・2力以上の力が物体（質点）に加わった場合にどうなるのかを考察する。	【知識・技能】 力のつり合いの図と作用反作用の図のちがいが理解できる。 【思考・判断・表現】 力によって物体の運動がどのように量的に変化するのかを理解できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの現象に於いて慣性の法則がどのような場合に成立するのかを理解できる。	○	○	○	
2節 ニュートンの運動の法則 5 作用と反作用 6 運動方程式 7	・ばねの性質を理解する。 ・力の分解、合成などを図式で書ける様にし、力がベクトル量であることを認識する。 ・作用反作用の法則を理解する。 ・力と加速度の関係を理解してニュートンの運動の法則を理解する。 ・運動方程式をたてられるようにする。	【知識・技能】 力と質量と加速度の関係から運動方程式が導けるようにする。 【思考・判断・表現】 作用と反作用を理解する。力を加える側の物体、力を受ける側の物体のちがいを認識する。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験をとおして力と物体、加速度と物体の関係を理解しようとしている。	○	○	○	

定期考査			○	○	○	
------	--	--	---	---	---	--

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー 1 仕事 2 仕事の性質と仕事率 3 運動エネルギー 4 位置エネルギー 5 力学的エネルギー保存則	・エネルギーの基礎概念を理解する。 ・運動エネルギーと位置エネルギーについて理解し、一定の条件のもとで力学的エネルギーが保存されることを理解する。	【知識・技能】仕事の物理的な意味を理解し、求めることができる。 エネルギーという概念を理解する。 【思考・判断・表現】仕事、位置エネルギー、運動エネルギーなどの物理量を計算できる。 【主体的に学習に取り組む態度】実験を通じ、位置エネルギー、運動エネルギーを数量にして求めることができる。	○	○	○	
	2節 熱とエネルギー 1 熱と温度 2 温度変化に必要な熱量 3 熱の移動と比熱の測定	・熱と温度のちがいについて理解する。 ・比熱と温度変化にともない出入りする熱量について理解する。 ・内部エネルギーと熱力学の第一法則を理解する。	【知識・技能】熱力学の第一法則の意味を理解することができる。 【思考・判断・表現】熱機関に加えられた熱量と外部から熱機関になされた仕事量の和が内部エネルギーの増加量になることをそれら基礎概念とともに理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】熱と温度のちがいについて理解できる。 比熱と熱容量について理解できる。	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	
	3章 波の性質 1節 1 波とは何か 2 波の性質	・波とは媒質中を振動のみが伝わる現象なことを理解する。 ・波源、平面波、波長、振動数などの重要用語を理解する。 ・波の重ね合わせを理解する。	【知識・技能】 ・物体の固有振動を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・波の重ね合わせ、合成波など理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・波の「速さ」「波長」「振動数」など、基本的用語を理解できる。	○	○	○	
3 学 期	2節 1 音の伝わり方 2 弦、気柱の振動 3 固有振動	・音の伝わり方、音を伝える媒質など理解する。 ・弦の振動、気柱の振動の在り方など、理解してそれがどのようにしているかを理解する。 ・物体の固有振動を理解できる。	【知識・技能】 ・波の「速さ」「波長」「振動数」の関係を理解できる。またそれらの数値計算ができる。 【思考・判断・表現】 ・弦の振動、気柱の振動など、理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・音の伝わり方、音を伝える媒質など理解できる。	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	
	第4章 電気 1節 静電気 1 電気と素粒子 2 静電気力 3 オームの法則 4 電力	1 基本的粒子がもつ電気を考える。 2 静電気力とはどのような力かを学ぶ。 3 オームの法則を理解する。 4 電力の式とエネルギーを理解する。	【知識・技能】 ・オームの法則を使い回路中のV、I、Rの計算ができる。 ・電力の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・電流、電圧、抵抗の量がどのようにきまるのか、またそれらの関係がどうなっているかを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・静電気力の有り様について理解できる。 ・電が起る仕組みについて理解できる。	○	○	○	
	2節 磁界と電磁誘導 1 磁場と磁石 2 電流と磁場	1 磁石がつくる磁界を理解する。 2 電流がつくる磁界を理解する。	【知識・技能】 ・さまざまな場合におけるローレンツ力について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・磁界中におかれたIの流れる導線が受ける力がどのようになるかを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・磁石のまわりに出来る磁界が理解できる。 ・電流のまわりに出来る磁界が理解できる。 ・ソレノイドのつくる磁場を理解できる。	○	○	○	
3 学 期	3節 電磁誘導 1 電磁誘導 2 モーターとその仕組み	1 磁界の変化によって生ずる電流を考 える。 2 モーターが回るしくみについて考 える。	【知識・技能】 モーターの構造と電磁誘導の関係について理解して、またその応用としての発電について理解できる。 【思考・判断・表現】 モーターが回るしくみについて理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 磁界が変化することによって電流が生ずることを理解できる。	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	

備考

合計

0

備考		合計 70
----	--	----------

高等学校 令和8年度

教科 保健体育 科目 体育

対象学年組： 第4 学年 M 組

単位数： 1 単位

教科担当者： 鈴木 悠太

使用教科書： 発行者 大修館

教科書記号・番号 保体701

教科書名 現代高等保健体育

教科 「保健体育」 の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を活用できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を探究し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に教える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 「体育」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、技能を活用する。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見・探究し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の個性を大切にしたい意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動【知識及び技能】体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)体ほぐしの運動・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。【思考・判断・表現】ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。【主体的に学習に取り組む態度】健康・安全を確保している。	○	○	○	5
	E 球技 ウ ベースボール型「ソフトボール」【知識及び技能】ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】健康・安全を確保することができるようにする。	ウ ソフトボール ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。【技能】タイミングを合わせてボールを捉えることができる。【思考・判断・表現】自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。【主体的に学習に取り組む態度】健康・安全を確保している。	○	○	○	6
	H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」【知識及び技能】我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを理解することができる。【思考力、判断力、表現力等】スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主	(ア)スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ)現代のスポーツの意義や価値 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】パラリンピック等の国際大会が、障害の有無を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることについて、言ったり書き出したりしている。【思考・判断・表現】スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

高等学校 令和8年度

教科 機械 科目 課題研究

対象学年組： 第4 学年 M 組

単位数： 6 単位

教科担当者： 渡邊 剛

使用教科書： 発行者

教科書記号・番号

教科書名

教科 「機械」 の目標

【知識及び技能】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 「課題研究」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械分野の学習活動で身に付けた技術に関わる知識を実際の作業に即して総合的に関連付けて理解するとともに、実際のものづくりの現場で活用することができる技術を身に付けるようにする。	機械分野の技術に関する課題を見だし、単に生産性や効率だけを優先するのではなく、工業製品が社会に与える影響に責任をもち、工業に携わる者として倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	機械分野に関する技術の向上を目指し、実際の作業を通して自ら学ぶ態度や、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
①焼窯の制作 ②人形の制作 ③電動模型の修理制作 ④自動車の修理整備 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる	①焼窯の制作 キャンプに使用できる焔炉または焼窯を制作する。 ②人形の制作 3Dプリンターを用いて、人形を製作する。 ③電動模型の修理制作 鉄道模型やPCに関する電気製品の制作・修理を行う ④自動車の修理整備 二輪・四輪自動車の整備と部品の製作をする。	【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	92

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数
2 学 期	①焼窯の制作 ②人形の制作 ③電動模型の修理制作 ④自動車の修理整備 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる	①焼窯の制作 キャンプに使用できる焔炉または焼窯を制作する。 ②人形の制作 3Dプリンターを用いて、人形を製作する。 ③電動模型の修理制作 鉄道模型やPCに関する電気製品の制作・修理を行う ④自動車の修理整備 二輪・四輪自動車の整備と部品の製作をする。	【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	93
3 学 期	①焼窯の制作 ②人形の制作 ③電動模型の修理制作 ④自動車の修理整備 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる	①焼窯の制作 キャンプに使用できる焔炉または焼窯を制作する。 ②人形の制作 3Dプリンターを用いて、人形を製作する。 ③電動模型の修理制作 鉄道模型やPCに関する電気製品の制作・修理を行う ④自動車の修理整備 二輪・四輪自動車の整備と部品の製作をする。	【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	25
備 考							合計 210

高等学校 令和8年度

教科 機械 科目 機械工作

対象学年組： 第4 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 渡邊 剛

使用教科書： 発行者 実教

教科書記号・番号 工業007

教科書名 新機械工作

教科 「機械」 の目標

【知識及び技能】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 「機械工作」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械工作について機械材料の加工性や工作法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	機械工作に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う	工業生産における適切な機械材料の加工や工作する力の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用した製造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 溶接法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 溶接に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 溶接技術の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<p>1. 機械工作の概要</p> <p>2. 機械の材料 鉄鋼 非鉄金属 非金属</p>	<p>【知識及び技能】 機械材料の加工性や工作法の概要を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 機械工作に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 機械材料の特徴や工作方法の概要に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】 鋳造法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 鋳造に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鋳造技術の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<p>3. 鋳造 砂型鋳造 金型鋳造</p>	<p>【知識及び技能】 各鋳造法の特徴と加工手順を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各鋳造法に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各鋳造法に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	6
定期考査						
<p>【知識及び技能】 鋳造法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 鋳造に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鋳造技術の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<p>3. 鋳造 砂型鋳造 金型鋳造</p>	<p>【知識及び技能】 各鋳造法の特徴と加工手順を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各鋳造法に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各鋳造法に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	10
定期考査						

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数	
2 学 期	<p>【知識及び技能】 溶接法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 溶接に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 溶接技術の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	4. 溶接 電気溶接 ガス溶接・切断	<p>【知識及び技能】 各溶接法の特徴と加工手順を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各溶接法に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各溶接法に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	8	
	<p>【知識及び技能】 塑性加工法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 溶接加工法に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 塑性加工の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	5. 塑性加工 鍛造 転造 プレス	<p>【知識及び技能】 各塑性加工法の特徴と加工手順を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各塑性加工法に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各塑性加工法に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	8	
	定期考査							
3 学 期	<p>【知識及び技能】 切削加工法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 切削加工法に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 切削加工の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	6. 切削加工 旋盤 フライス盤 ボール盤	<p>【知識及び技能】 各切削加工法の特徴と加工手順を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各切削加工法に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各切削加工法に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	16	
	定期考査							
	<p>【知識及び技能】 色々な機械加工法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 色々な機械加工法に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 色々な機械加工の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	7. その他の機械加工 砥粒加工 表面処理	<p>【知識及び技能】 々な機械加工法の特徴と加工手順を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 々な機械加工法に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 々な機械加工法に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>				16	
定期考査								
備考							合計	70

高等学校 令和8年度（4学年用）

教科 機械 科目 機械設計

対象学年組： 第4 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 阿部 憲一

使用教科書： 発行者 実教

教科書記号・番号 工業710 711

教科書名 機械設計1, 2

教科 「機械」 の目標

【知識及び技能】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 「機械設計」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械設計について機械の仕組みや機械要素を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	機械設計に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業生産における適切な設計技術の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用した製造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 機械の成り立ちを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 機械設計に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 工業生産における適切な設計技術の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<p>1. 機械設計の概要 2. 機械の定義 3. 力の合成と分解</p>	<p>【知識及び技能】 機械設計の概要を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 機械設計に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 機械設計の概要に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	10
<p>【知識及び技能】 力学を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 力学に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 力学の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<p>4. モーメント 5. 重心 6. 運動</p>	<p>【知識及び技能】 力学を踏まえた機械設計の特徴を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 機械設計に関わる力学に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 力学に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	10

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数	
2 学 期	<p>【知識及び技能】 材料の強さについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 材料の強さに関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 材料の強さに関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	7. 材料の強さはり 曲げモーメント 座屈	<p>【知識及び技能】 力学の特徴と設計手順を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 力学に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 力学に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	8	
	<p>【知識及び技能】 安全と設計について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全と設計に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 安全と設計に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	8. 安全と設計 9. ねじ 10. 軸、軸接手	<p>【知識及び技能】 安全と設計についての特徴を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全と設計に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 安全と設計に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	8	
	<p>【知識及び技能】 伝達機構について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 伝達機構に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 伝達機構に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	11. 歯車 12. リンク・カム	<p>【知識及び技能】 伝達機構の特徴としくみを知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 伝達機構に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 伝達機構に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	16	
3 学 期	<p>【知識及び技能】 構造物と接手を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 構造物と接手に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 構造物と接手に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	13. 構造物と接手	<p>【知識及び技能】 構造物と接手の特徴と加工手順を知ることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 構造物と接手に関する課題を発見し、解決する力を身に付けたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 構造物と接手に関して自ら学び、情報技術や環境技術を活用し、協働的に取り組む態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	18	
備 考							合計	70